

自己点検・評価表

実施日：平成31年3月1日

学校名： ハッピースイーツ製菓専門学校

1. 学校の教育目標

【教育の基本理念】

ホスピタリティマインド豊かな製菓・製パン技術者の育成
「まごころ」と「おもいやり」を兼ね備えた技術者の育成に取り組みます。

【教育の方針】

「礼儀」 職場での立場を自覚し、上司・先輩そしてお客様からの信頼を得られるためのマナーを体得
「自己管理」 社会人として必要な時間の管理、体調管理の実践
「整理整頓」 職業人として日常心がける5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）の実践
「協調性」 職場で重んじられるチームワークの大切さを体得、そして実践
「挑戦・向上心」 常に目標を掲げ、失敗を恐れず挑戦し続け、互いに助け合い達成した喜びを分かち合う

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1.中退防止 2.授業満足度の向上 3.入学満足度の向上 4.卒業生就職率の向上 5.新入生定員の充足

日々の学生管理は基より、中退率の軽減、教育内容の充実と入学満足度・授業満足度の向上、国家資格合格率100%の継続、安定した就職先の確保を行う。学校や学生を取り巻く環境が大きく変化しており、特にSNSなどネット環境を意識した学生指導に力を注ぐ。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. <教育理念・目標>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④	3	2	1	学則・入学案内書
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1	入学案内書・スクールマニュアル
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1	学則・入学案内書・入学前保護者説明会・新入生保護者会

①課題

1-3 2014年4月に開校して5年を終え、4期生までが卒業を迎えた。製菓製パンの知識や技術の習得、製菓衛生師免許の取得を基本として、授業運営をすすめることができている。企業のニーズに応えるには、専門学校の学生数維持、増加が必要不可欠である。

②今後の改善方策

1-3 製菓製パン業界を目指している、または興味のある高校生等に対して、仕事の魅力を感じてもらえる「仕事の学び場」への参画を検討する。

③特記事項

国家資格「製菓衛生師」の合格率95.6%と全員合格には至らず。

2. <学校運営>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1	重点方針
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	財務関連資料・重点方針
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1	自己点検・評価報告書、情報公開
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4	③	2	1	就業規則・人事考課表・組織図・職務分掌

2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	自己点検・評価報告書・個人情報保護規定
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	情報公開資料（HP掲載）

①課題

- 2-1 ホスピタリティを含めた社会人基礎力について、全教員で共有が必要である。
2-4 就業規則の一部変更に沿った、勤務管理を定着させなければならない。

②今後の改善方策

- 2-1 日常生活での積み重ねが大切なので、朝礼を有意義な時間となるよう工夫する。
2-4 勤務状況の個人管理徹底と、管理職による把握をデイリーで行う。

③特記事項

特になし

3. <教育活動>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	重点方針・カリキュラム表・WEBシラバス・教育課程編成委員会議事録
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	カリキュラム表・WEBシラバス
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	カリキュラム表・WEBシラバス
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④	3	2	1	WEBシラバス
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4	③	2	1	授業改善アンケート
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	4	③	2	1	授業改善アンケート
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	スクールマニュアル・WEBシラバス
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	講師履歴書・免許写し・講師名簿
3	10	専門分野との連携による優れた教員（本務・兼務含む）を確保するための活動が行われているか	4	③	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	研修関連資料
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	④	3	2	1	WEBシラバス、スクールマニュアル
3	13	講義に関し養成施設として定められたカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1	WEBシラバス、スクールマニュアル、養成施設関連法律
3	14	実習に関し養成施設として定められたカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1	WEBシラバス、スクールマニュアル、養成施設関連法律
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	③	2	1	入学試験面接記録、個人面談記録
3	16	各実習、実験等に関し、これらに関する倫理・器具の取り扱いについて規則やマニュアルが整備され、公表されているか	4	③	2	1	実習マニュアル
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	④	3	2	1	文書管理規定・学生情報システム(Nacs)権限設定

①課題

3-11 知識・技能に対する研修は定着している中で、新たな研修を検討する必要がある。
 3-14 製菓衛生師法の一部改正があり、指定科目の時間数変更に応じたカリキュラムを検討する。

②今後の改善方策

3-11 器具の新たな活用方法を身に付ける研修を導入する。
 3-14 2019年度は従前のカリキュラムを継続し、2020年生から新カリキュラムとする。学習成果を維持できるよう、科目によっては規定時間数を上回る授業実施を検証する。

③特記事項

3-14 法改正による変更事項は、2020年3月までは従前の例によることができる。

4. <学修成果>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
4	1	就職率の向上が図られているか	4	③	2	1	学校基本調査・内定関連資料
4	2	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	国家試験結果一覧
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	4	③	2	1	年度末在籍集計表
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	④	3	2	1	SAM活動、外部販売企画
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	③	2	1	スクールマニュアル、成績証明書、WEBシラバス
4	6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	4	③	2	1	委託協定書
4	7	企業実習(インターンシップ)について、依頼先の担当者等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法等を事前に決め、評価しているか	④	3	2	1	インターンシップ依頼書、インターンシップ報告書(記録)

①課題

4-1 求人票は掲示及びファイル管理にて学生へ公開しているが、その他の閲覧方法を検討する必要がある。

②今後の改善方策

4-1 WEBを活用し学校外でもスマートフォン等で閲覧できるよう、システムを導入する。

③特記事項

4-2 製菓衛生師試験は6月の東京都をスタートとしているが、希望者による他県受験を積極的に行う。

5. <学生支援>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4	③	2	1	スクールマニュアル、保護者会
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	健康診断記録、専任カウンセラー、

5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	奨学金制度案内、各種制度
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	担任制度、専任カウンセラー
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	SAM活動
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4	③	2	1	提携寮紹介・ひとり暮らし応援制度
5	7	保護者との連携は適切か	4	③	2	1	保護者会、保護者発送文書
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	卒業生進路管理表
5	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	高校連携事業内容

①課題

5-2 学内にて体調が優れない場合は保健室で様子を見ている。、回復がみられない場合は帰宅もしくは病院での診断をすすめている。学生数に対してベット数が不足している。

②今後の改善方策

5-2 新校舎の保健室にベットを増設する。

③特記事項

特になし

6. <教育環境>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	施設・設備リスト、時間割表
6	2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	事故対策・地震対策・緊急初動マニュアル、備蓄品、緊急連絡先一覧
6	3	実習室には養成施設として定められた設備が備わっているか	④	3	2	1	器具・設備リスト
6	4	実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか	④	3	2	1	時間割表、備品リスト
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4	③	2	1	図書リスト
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4	③	2	1	備品リスト
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④	3	2	1	時間割表、設備予約システム、
6	8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	4	③	2	1	海外研修募集案内資料、研修行程表

①課題

6-5 書籍の充実を図ることができ、定期的に新しい書籍を購入していく。書籍の閲覧環境は整備が必要である。

②今後の改善方針

6-5 新校舎にて自主学習のできる環境を整備する。また、Free-Wi-Fiなどインターネット環境の構築については、導入費用を含め継続検討を行う。

③特記事項

6-3 法改正による変更事項に設備も含まれており、削除となった器材もある。

7. <学生の受入れ募集>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1	入学案内書、募集要項、入学時関連ツール
7	2	学納金は妥当か	④	3	2	1	募集要項、公式ガイドブック
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	4	③	2	1	学生情報システム(Nacs)

①課題

7-1 新設学科の調理師科の学生募集を4月より開始。進路活動が早期化しており、高校1.2年生への職業説明や学校見学にて理解を深める必要がある。

②今後の改善方針

7-1 「仕事の学び場」へ参画しパティシエや調理師の職業理解に力を注ぐ。

③特記事項

7-3 本人や保護者に加え、高校の先生からの情報収集するなど対応していく。

8. <財務>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	財務関連資料
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	予算関連資料
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	会計監査関連資料
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	情報公開(HP)

①課題

8-1.8-2 パティシエ科4クラスの定員充足が、安定した財務基盤となるが、学年による学生数の増減は最小限に留めなければならない。

学科新設、校舎建設による収支も踏まえた、財務管理が必要である。

②今後の改善方針

8-1.8-2 収支計画を見直し、適正な予算策定と執行を行う。

③特記事項

特になし。

9. <法令等の遵守>		適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1	学則、文書管理規定
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1	個人情報保護規定(プライバシーポリシー)
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1	学校関係者評価表
9	4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	情報公開(HP)
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	④	3	2	1	人事考課表
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	④	3	2	1	人事考課表、人事規定
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか	④	3	2	1	人事考課表、人事規定

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

9-2 SNSによる情報発信には引き続き注意し、また学生にSNS利用についても指導を継続する。

10. <社会貢献・地域貢献>		適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	SAM活動、キッズハッピープロジェクト

①課題

10-1 近隣住民に対して学習成果を発表する機会を、更に増やしていく必要がある。

②今後の改善方策

10-1 パティシエ科、調理師科それぞれ新校舎を使用した限定ショップの計画を進める。

③特記事項

特になし

11. <国際交流(必要に応じて)>		適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行き、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	②	1	
11	2	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	②	1	

①課題

11-1 就労ビザ取得が大きな課題であったが、在留資格「特定技能」が導入されたため留学生のニーズが高まると予想される。

②今後の改善方策

11-1 「特定技能」の内容を正確に把握しグループ校との情報共有にて適切な対応を行っていく。

③特記事項

11 <国際交流>については、留学生の入学実績がないため、それぞれの項目を②評価。